

## アプリケーションカタログ ニッケルめっき液中の塩化ニッケル

関連業界	:	無機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	沈殿滴定
関連規格		

### 1. 概要

通常のニッケルめっき液で塩化ニッケルのみを測定するには、硫酸ニッケルが共存するためニッケル濃度からの算出は不可能で、試料中の塩素イオン濃度を求めて塩化ニッケルを算出します。

試料中の塩素イオン濃度は、電位差滴定法により0.1mol/L硝酸銀液で当量点まで滴定して求められます。

さらに、塩化ニッケルの濃度を計算して求めます。

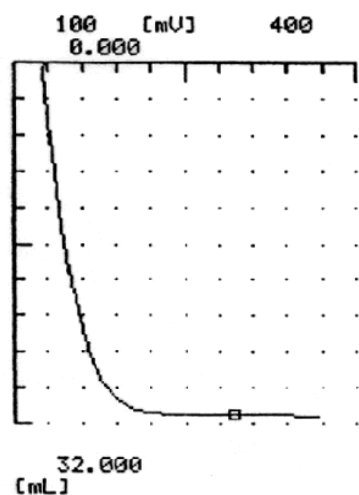
### 2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（標準プリアンプリファイア STD-1）
電極	:	複合銀電極

### 3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 硝酸銀溶液
-----	---	----------------

### 4. 測定例



—滴定曲線—

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>

—測定結果—			
	採取量 (mL)	滴定量 (mL)	塩化ニッケル 濃度 (g/L)
1	5.0	31.2425	39.70
2	5.0	31.2216	39.68
3	5.0	31.1905	39.64
平均			39.68
標準偏差			0.03
RSD (%)			0.08